

平成27年度

研究集録

研究テーマ 発達過程を踏まえた造形教育の在り方

～様々な表現を楽しむための教師のかかわり～



上尾市立平方幼稚園

様々な表現を楽しむために教師のかかわり

<2年保育4歳児>

月	活動内容	素材と経験したこと	(☆)環境 (◇)教師のかかわり (○)幼児の姿
4月	<p>こいのぼりづくり</p> 	<p>・絵の具を使って画用紙に手形を押す</p>  <p>・指絵の具でうろこ作りをする</p>  <p>・画用紙で作った目を糊で貼る</p>	<p>☆前日に水で新聞紙に手形スタンプ遊びができるように水・新聞紙を用意する。</p> <p>○「手の形になった」「指の所が見えない」など繰り返し遊ぶ中で、しっかり付けることや押し方を変えて楽しむ。</p> <p>☆布に絵の具を染み込ませて置いておく。水色とピンクはテールを別にする。</p> <p>◇絵の具の感触を楽しみながら手形スタンプを押すことができるように「絵の具冷たいね」「上手に手の形が出たね」などの言葉掛けをした。</p> <p>○水とは違い、手に絵の具が付くことに抵抗のある幼児もいる。</p> <p>◇教師も一緒にやりながら数は少なくてもできたことを認めていく。</p> <p>☆手形スタンプを押した画用紙をこいのぼりの形に切る。絵の具は布に染み込ませておく。</p> <p>○前日の手形スタンプの経験があったので、進んで指スタンプでうろこ作りをしている。</p> <p>◇やりすぎてしまいそうな幼児には様子をしながら声をかけていく。</p> <p>☆のりの板・のりの手拭きを個々に用意する。</p> <p>○のりを指で付けることが初めての幼児が多く、付ける量や伸ばし方など試している。</p> <p>◇のりを指で端までのばすことができるように声を掛けたり、やって見せたりする。</p> <p>☆絵の具で輪郭を描いた画用紙を用意する。</p> <p>○髪の毛や顔を描く。「髪の毛は長いんだよ」「メガネをかけてる」などお母さんを思い出しながら描いていた。</p> <p>◇描くことが苦手な幼児やクレヨンとの経験があまりない幼児はなかなか進まないで、一緒にお母さんを思い出しながら描けるようにする。</p> <p>☆様々な色や形の花を用意する。</p> <p>○自分なりに色や形を組み合わせて作ることを楽しんでいる。</p> <p>◇幼児なりに考えたり、組み合わせたりする姿を認めたり出来たことを一緒に喜んでたりする。</p>



イチゴケーキ作り



・イチゴの折り紙を折る

・ケーキにクリームやフルーツを貼る

父の日のプレゼント作り

・お父さんの顔を描く

・メッセージボードに飾り付けをする



あじさい作り

・画用紙にタンポをする

短冊作り

・障子紙を染める



☆赤い折り紙・いちごのへたを用意する。

◇初めての折り紙なので、基本形でわかりやすい折り方の折り紙を選んだ。

◇少人数で折り紙を行なうことで個々の幼児の把握をする。

◇指先を使って折ることがなかなか上手でない幼児も多い。幼児の様子を見ながら個々に援助したり、認めた
りしていく。

☆台紙にケーキの画用紙を貼っておく。帯(クリーム)と色や形の異なったフルーツを用意する。

◇クリーム(帯)の中に4種類の色や形の違うフルーツを1つずつ貼ることを伝える。糊の量や端まで付けられるよ
うに見守ったり、具体的にやり方を伝えたりする。

○それぞれに貼り方や並び順を考えながら貼っている。同じフルーツを貼ってしまいう幼児もいる。

☆絵の具で顔の輪郭を描いておく。洋服を数種類用意する。

○母の日の時にも顔を描いたので、比較的スムーズに顔や髪の毛を描くことができていた。

○お父さんの好きな色や模様などを考え、洋服を選んでいった。

☆ハートや星、ひし形などの形、メッセージボードの土台となる画用紙(数色)を用意する。

◇画用紙の周りに模様を貼ることを話す。幼児の選び方や貼り方を見守りながら幼児の考えや工夫を認める。

○「お父さん喜んでくれるかな」「使ってくれるといいな」などプレゼントすることを楽しみしながら製作している。

☆少し大きめの画用紙を用意する。ガゼで作ったタンポと布に含ませた絵の具を用意する。

○ピンク・水色・紫の好きな色を選び、友達と一緒にタンポ遊びを楽しむようにする。

○タンポで押した模様不思議さを感じたり、押すたびに色の濃さや形の違いを楽しんでいる。

☆絵の具(ピンク・黄色・水色・黄緑・紫)を水で溶き、容器に入れておく。


○障子紙を三角に4回折る。一つ目を一緒に折らなったら、2枚目3枚目と自分で折る。

◇染める手順をやって見せながら話をする。特に染めた紙を広げる時には慌てず、丁寧に折ることを話す。

○個々に色を選んで模様の出方を楽しんだり、色の混ざり方、変化などを楽しんだり、驚いたりしている。

○回数を重ねるごとに絵の具を付ける量や組み合わせなどを工夫している。

○染めた紙を広げる時に、1枚ずつ開いていくことができず、破れてしまいう幼児もいる。

7月	泥粘土	・泥粘土に触れて遊ぶ 	☆泥粘土に水を含ませて捏ね、幼児が使いやすい方さ、大きさにしておく。 ○初めての泥粘土に戸惑いを感じている幼児もいる。 ◇教師も幼児と一緒にちぎったり、丸めたりして泥粘土の感触に共感したり、ダイナミックに楽しんだりする。 ○慣れくると、手だけではなく足で踏んで感触を楽しんだり、たくさん泥粘土を使って大きな形を作ったりすると自分なりに楽しんでいる。 ○場を大きく取っておいたことで、ダイナミックに遊び幼児、粘土と同じように遊ぶ幼児など思い思いに楽しんでた。
9月	自分を作る	・自分の顔を描く ・洋服を選び張り合わせる	☆肌色の画用紙を用意する。 ◇自分の顔を鏡で見ながら顔を描く幼児が多い。顔を描くことに苦手意識をもっている幼児はなかなか描けないので、幼児によって教師が輪郭を描いたり、手を持って一緒に描いてみたりする。 ☆洋服・スカート、ズボンの色や形を変えて用意しておく。腕は別に作り、まっすぐ・曲がついているなど用意する。 ○洋服の色や形を楽しみながら選び、組み合わせを変えたり、試したりしている。 ◇腕の付ける位置がわからない幼児もいるので、教師の体を使ってどこから手が出ているか、どのような向きで付いているかなどに気付かせていく。 ☆大きい画用紙を用意する。
10月	運動会の絵を描く	・友達と一緒に運動会の絵を描く ・楽器作り ・タペストリー作り	○同じ競技の絵を描きたい幼児同士がみんな1つの絵を書き上げていく。描くことが苦手な幼児も自分の描ける所に参加することで無理なく描くことができた。 ○同じ経験をしていてもイメージや印象がそれぞれ違うので、自分が思っていないことを他の幼児に描かれてしままい、言い合いになってしまうこともあった。 ☆楽器の見本と木の突・カップなどの材料を用意しておく。 ○興味をもった幼児が見本をみて自分なりに作り、曲に合わせて鳴らして楽しんでいたことで他の幼児にも広がり、真似をしたり、自分なりに木の突を変えたり、容器を選んだりして作っていた。 ☆様々な秋の自然物、ポンド、土台を用意する。 ○自分なりに使う自然物や何に見立てるかなどを考えてじっくり取り組んでいた。

<p>11月</p>	<p>おいもほりの絵を描く</p>	<p>絵の具やクレヨンを使って絵を描く</p> 	<p>◇なかなかイメージが膨らまない幼児には、友達が作っている様子に気付かせたり、どんなものを作りたいか一緒に考えたりする。</p> <p>◇ボンドの使い方、小さい木の葉への接着の仕方などを知らせ、幼児の取り組みを見守ったり、幼児がイメージを実現できるように援助したりする。</p> <p>○出来上がったタペストリーを友達と見せ合ったり、飾って楽しむことができた。友達の発想に刺激を受け、遊びの中で新しく作る幼児もいた。</p> <p>☆白い画用紙、さつまいも(3色)・土・空の絵の具、画板を用意する。</p> <p>◇画板の使い方を知らせる。</p> <p>◇はじき絵の手法を知らせ、幼児が絵を描く時の選択肢の1つとして提案する。</p> <p>○最初にはじき絵の手法を知らせたことで、幼児が興味をもってクレヨンと絵の具を使ったはじき絵の手法を取り入れていた。ただ絵を描くだけでなく力を入れてクレヨンを塗ることに気をつけたり、絵の具がクレヨンをはじく様子を不思議がったりしていた。</p>
<p>12月</p>	<p>クリスマスバック作り</p>	<p>油性ペンで線を書く</p> <p>線で囲まれた空間をクレヨンで塗る</p> <p>クリスマスツリーに毛糸を巻く</p>  <p>紙袋にクリスマスツリー、星の切り紙を貼る</p>	<p>☆白い画用紙に二等辺三角形を書き、左右にハート・星・丸などの模様をつける。</p> <p>◇教師の指示にあわせて模様同士を線で繋げていく。幼児がわかりやすいように絵での表示も利用する。</p> <p>○繋ぎ合わせる模様を探したり、複数ある模様のどこを繋げるかを考えたりしながら教師の指示に沿って線で繋げていた。</p> <p>◇クレヨンで塗ることを考え、できるだけ遠い模様同士で繋げられるように言葉かけをしたり、気付かせたりする。</p> <p>◇隣同士が同じ色にならないように話をする。また、黒や茶色など使わない色を知らせる。</p> <p>○自分なりに色を考えて塗っていた。最後まで丁寧に塗ることができた幼児と筆圧が弱かったり、集中力に欠けたりし、飽きてしまう幼児がいた。</p> <p>☆ツリーの形に切った紙に切れ込みを入れておく</p> <p>○指先を使うので、毛糸を巻くことに難しさを感じる幼児がいた。</p> <p>◇毛糸を軽く引く張りながら切れ込みにかけていくことを知らせ、一緒にやりながら出来上がったことを認めたり、一緒に喜んでたりする。</p> <p>☆クリスマスツリーに画用テープを貼る。金色の折り紙を折っておく。</p> <p>◇画用テープを剥がすということにも指先を使うので、幼児の様子や指の使い方を見守ったり、剥がし始める場所を知らせたりする。</p> <p>○折った紙を切ることで、星の形になることや切る角度によって星の形が違う感動や驚きが幼児から聞かれた。</p>

凧作り

・ビニールに絵を描く



・竹ひごを印に合わせて貼り付ける

鬼のお面作り

・画用紙をお面の形に折る



・画用紙を切って鬼の顔を作る
(重ねて切る)

・鬼の角を作る



・毛糸をまとめ、バンドで付ける

・柄を折る

☆凧の形に白いカラービニールを切る。竹ひごは長さを合わせて切る。

○ビニールに絵を描くという経験がない幼児が多かったので、描きにくそうにしている幼児もいた。

◇マスキングテープを利用し、机に貼り付けて動かさないようにして幼児が描きやすいようにした。

○凧がどうやってできるのか、楽しみにしながら絵を描いたり、飛ばしたときの向きを気にしたりしながら絵を描いていたりする幼児もいた。

◇しっかりと留めることができるように、セロハンテープの向きに気付けたり、少しずつ貼っていくことを知らせたりした。また、一人で留めることが難しい幼児は友達に自分から声をかけ、押さえてもらえようように援助した。

◇竹ひご同士が重なり合っている場所の近くは接着が難しいので、1つずつ確認をし、補強した。

○「凧ってこうやって作るんだ」とができる工程に興味をもっている幼児や「いっぱい飛ばぶかな」と自分の作った凧をあげることを楽しみにしながら作っている幼児の様子が見られた。

☆赤と青の画用紙を用意する。

◇画用紙が折り紙よりも硬いため、折り目をしっかりとつけられることが難しい幼児もいた。大きめの画用紙だったため、ひとつひとつの工程は折りやすそうだった。

○画用紙を折ることに興味をもって取り組んでいた。普段使っている素材でもその素材をどうやって使うかによって幼児の興味・関心はい大きく変わる。

☆様々な色や大きさの画用紙を用意する。

◇実際にやってみせながら重ね切りの手法を知らせる。

○複数枚必要で重ね切りが必要なもの、鼻のように1枚でいいものを使い分けられることがスムーズにできる幼児とどこに複数枚必要かなかなかわからない幼児がいた。

○重ねて切ることで同じ形ができることに驚きや喜びを感じている。

○円錐を作る工程では手先の動きや使い方、発音が顕著に見られた。なかなか形にできず苦戦している幼児もいた。

○やり方やコツがわかるとたくさんできていくことを喜んでいたり、楽しんでいたりした。

○バンドなど接着に必要な素材の量やつけ方など自分で必要な量を考えて付けることができるようになっていた。

○折り方はコップと同様だったため、今までの経験で教師の話を聞きながらスムーズに折ることができていた。

○画用紙で折ることも鬼のお面で経験しているため折り折り目をつけることなども意識している幼児が多かった。

雛人形作り

・折り紙でお内裏様とお雛様の体を作る

・画用紙で作った型を組み合わせ、顔や飾りを作る



・台を貼る

・発泡球に色を塗り、ぼんぼりを作る

・切り紙で桃の花を作る



・トイレットペーパーの芯に布を貼る



・芯やフォトフレームにレースやリボンをつける



○折る位置がはつきりと決まっていなく、目安であったため、どのくらい折ればいいのか戸惑ったり、自信がなくひとつひとつ確認しながら折る幼児もいた。

○「指を入れて開いてつぶす」ということも鬼のお面での経験があったため、スムーズにできた。

☆髪の毛や扇子、杓などのパーツを用意する。

○髪の毛の位置や顔と体のバランスなど自分なりに考えて作っていた。

◇**幼児が考えてつくる姿を見守り、それぞれの考えや工夫を認めていくようにした。**

○自分でできたことを認めてもらえたことで、楽しみながら自信をもって取り組むことができた。

○ポンドを使って貼る素材、のりを使って貼る素材が違うので、できるだけまとめて行なうようにした。素材によって接着剤を変えることが1つの作品の中で経験することができた。

☆発砲球を半分に切っておく。

◇**筆を使ってプライトカラーを塗る時には、筆の使い方、絵の具の量など、一緒にやりながら知らせる。**

○ひとつめの切り紙を一緒に作っていき、それを基に自分で折ったり切ったりできるようにした。一度の経験でできる幼児と何回説明しても一人で進めていくことができない幼児との差がとても大きい。

○どこに貼るか、どの色を使うかなど自分で考えたり工夫したりして自分だけのひな飾りを作っていた。

☆様々な柄の布を切っておく。ポンド・筆を用意する。

○布にポンドをのばし、端までつけることに苦戦している幼児もいたが、「年長風にプレゼントしたい」という気持ちをもって丁寧に取り組む姿が見られた。

◇**3枚の布の組み合わせ方を自分なりに考えて貼り合わせていたが、巻くことが難しい幼児には布を置き、芯を転がして巻いていく方法を伝え、できるだけ教師の手を借りず、自分で作ったという気持ちや自信がもてるようにした。**



☆レースを必要な長さに切って種類ごとに置いておく。


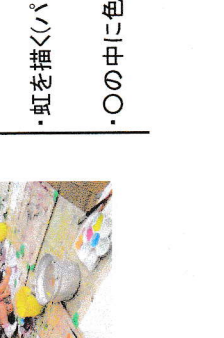
○プレゼントする年長児のことを考え、色や柄、種類を一生懸命考えていた。プレゼントをする相手のことを考えながらひとつひとつ丁寧に取り組むことができるようになった。




年長組にプレゼントを作る









様々な表現を楽しむための教師のかかわり <2年保育5歳児>




月	活動内容	素材と経験したこと	(☆)環境 教師のかかわり 幼児の姿
4月	<p>こいのぼりづくり</p>  	<p>○布にマスキングテープで模様をつけてローラー遊びをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の混色を楽しむ ・ローラー遊びを楽しむ <p>○かわいたところを大きな布のこいのぼりに貼る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両面テープ ○フェルトの目を貼る ・両面テープ 	<p>☆20センチ×15センチくらいの白い布を1人3、4枚遊べるように用意した。 その布をこいのぼりのうろこにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローラーは年少の時に使って遊んでいたが、教師がマスキングテープを貼った上からローラーで色をつけ、はがした時に模様が真っ白にできてきたことに感動し、「早くやってみたい」とわくわくしながら喜んで遊び始めた。 ・マスキングテープを着る所が考えていた以上に指先の作業に難しさを感じる幼児が見られた。扱い方を知らせていくと、慣れていき、自分でできるようになり、経験としてよかったと感じた。 ・初めは、直線に貼って、ローラーで色をつけてはがし、試していたが、友達の出来上りの声を知らせると、次第に線路や縞模様様に工夫して貼って楽しんでいった。また、付けた色合いやはがした後の模様からイメージが生まれたりしていき、教師はその声に共感しながら、まわりの幼児にも伝えるようにすると、そこからさらに工夫したり、イメージが広がったりしており、一人一人の遊びではあるが、まわりの友達から遊びがより楽しくなっていた。 ☆絵の具は4テーブルに3色ずつおいて、自分で色合いの好きなコーナーを選んでもできるようにした。 ・自分なりの色の混ぜり方や色の使い方(2色にしてみたり、重ね方を変えたり)を試して楽しんでいたので、一人一人が自分の布で繰り返し遊べたのがよかった。 ・この経験とつなげて、混色でスチレン版画をする活動も楽しいのではと考えた。
4月	<p>迎える会プレゼントづくり</p>	<p>○じゃばら折りペンダントをつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に続き、じゃばら折りペンダントをつくった。進級して間もないので、行程の少ない、わかりやすいつくり方の物を考えた。そのことで、幼児が「何色が好きな?」「どんな動物が喜ぶかな?」など考えて、安心して楽しんでくれることができた。教師もつくり方を伝えることよりも、幼児が気持ちをこめてつくる姿を十分に受け止めたり、プレゼントを渡すことに期待がもてるような声かけやかわりをしたりした。


<p>5月</p> <p>染物 (バック)</p> 	<p>○染め物</p> <p>・ビー玉と輪ゴムで模様をつける</p>	<p>・輪ゴムで巻きつけるのが上手な幼児が多く、輪ゴムを取る時にも、あまり苦戦している様子がなかった。年少のときの毛糸の経験がながっているのではないかと感じ、この基礎があったことで、ビー玉をつける位置や数を考えながら楽しんで工夫してできた。</p> <p>・出来がった時の感動や輪ゴムを取る時のワクワクした気持ちは染め物ならではの経験であり、どんな模様も失敗がないところが幼児が出来上がった時の大きな満足感になっていた。教師はその気持ちに共感し、感動体験と一緒に楽しんでだ。また、それがプレゼントになり、お母さん方が使ってくれることがとても嬉しい様子だった。</p> <p>☆偶然できる形や模様もおもしろいが、工夫を楽しめるように染め物のビー玉を重ねたときにどんな形ができるか、またビー玉を使わないとどんな絞りができるかなど、布の染めた時にできる模様をわかりやすく飾っておくのもいいのではない</p> <p>か</p> <p>☆保育室を2部屋使い、行程ごとにコーナーにすることで幼児にとってもわかりやすく、次の行程に移れる様子があった。</p>
<p>5月</p> <p>折り紙 (だまし舟・風車)</p>	<p>○つくった折り紙で遊ぶ</p> <p>○形が変化する折り方を楽しむ</p>	<p>・折り方の行程が長いので全体ではなく、興味をもった幼児から伝えていくようにしたことで、出来上がった時に面白さを感じ、友達同士で伝え合う姿につながっていた。</p> <p>・風車にストローをつけて、まわるようにしたことでつくったもので遊べる楽しさを味わっていた。</p> <p>・風車・だまし舟・ヨットといろいろな形に変化することが楽しく、繰り返し折って遊んでいる中で今までよりも少し難しい折り方も習得していた。</p>
<p>6月</p> <p>絵の具で好きな絵を描く</p> 	<p>○絵の具の使い方を知る</p> <p>・新聞紙に水で描く</p> <p>・波を描く</p> <p>・虹を描く(パレット)</p> <p>・○の中に色を塗る</p>	<p>・「絵の具の基本的な使い方を知る(筆の扱い方、色を変える)」という部分に丁寧に時間をかけていたが、年少組で筆の扱い方は経験しているもので、年長では「色を変えたい時にどうしたらいいか」「色を重ねる時は…」という2つのポイントでいいと思われるので、『虹』の基本だけでいいと感じた。</p> <p>・色を重ねる基本の経験では「ケーキのクリームを塗り、フルーツやチョココロートを描くなど」もできるのではないかと</p> <p>・好きなテーマで白い大きな紙(4ツ切り)を渡すと、まだイメージが形にならない幼児も多く、少し描いて友達のをを見て「もう一枚描く」という姿があったり、何を描こうと戸惑う様子もあった。教師も何枚も描こうとする幼児に紙を渡すことを</p>


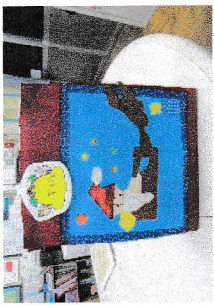
		<p>・好きなテーマで絵の具で絵を描く</p>	<p>戸惑う気持ちにもなった。絵の具で好きな描く楽しさを味わう経験にしたいのであれば、「大きな紙で自由に描く」方がその経験になったのではないだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵の描いて貼っておくことで、友達の絵を見てまねして自由帳にクレヨンでクワガタを描いたり、「また、描きたい」と話したりする様子があった。絵は模倣や経験を重ねることでイメージが広がったり、形になったりしていくのではないかと感じた。
6月	<p>木工遊び</p>  	<p>○木材で船をつくる(親子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・船づくりの前に金槌や釘の使い方を知るきっかけになるように煙の看板や樹木の名れづくりをした。はじめて触れる道具ではあったが、「やってみよう」「大工さんみたい」と喜んで遊び始めていた。安全な扱い方が伝わるように二人組でおさえたり、協力したりできるようにし、また、コーナーをつくり、興味をもった幼児から少人数でできるようにした。 ・船づくりでは、親子で行い、幼児の自分なりの船のイメージを支える形で一緒につくってもらえるように伝え、親子でつくことで道具に慣れていく様子があった。 ・それぞれの親子でいろいろな材料を選んで、様々な形にできあがった船を見せ合う機会をもった。友達の考えた工夫やできあがった船のよさを認め合う様子があった。 ・自分でつくった船が川遊びで浮かび、大喜びし、木工遊びの面白さやつくったもので思いきり遊ぶ楽しさを味わっていた。
6月	<p>押し花</p> 	<p>○自分で押し花にする</p> <p>・押し花でフレームを飾る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・押し花を選んで飾り付け、パウチをしたときの感動がとても大きかった。 ・自分で園庭のお花を選んで、押し花になる仕組みを知り、不思議さや色が残る感動を味わっていた。 ・花の名前を伝えたり、「きれいだね」という気持ちに共感したりし、自然物に触れる機会としてよかった。
6月	<p>時計づくり</p>	<p>○空き箱や容器を使って好きな時計をつくる</p> <p>・腕時計</p> <p>・掛け時計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆時の記念日にちなんで、いろいろな種類の時計を廊下に飾って置いた。 ☆自分で材料を選んで、ほしい時計をつくれるように材料を置いておき、数字をシールで貼れるようにしたり、針が動くようにわりピンを用意したりした。 ・腕時計を喜んでつくる幼児が多く、「お昼は何時から？」と時計の針を合わせ生活の中でも時計を使って遊んでいた。遊びに取り入れられるものが幼児にとって、つくる楽しさやつくってみようという気持ちに大きくなっていた。

6月	<p>泥粘土 (6/25, 26, 7/16)</p>  	<p>○泥粘土に触れて遊ぶ</p>	<p>・鳩時計など</p>	<p>また、時計や時間への関心にもつながっていた。 ・材料を選んだり、割ピンの扱い方等友達と伝え合っていてつくっている姿を見守ること、友達とのかかわりも大きかった。 ・いろいろな時計の種類があり、イメージがわきやすく、イメージに合う材料を選びながら、工夫してつくっていた。イメージが広がると工夫する楽しさが味わえるようだった。</p>
6月	<p>七夕飾りづくり</p> 	<p>○個人の七夕飾りをつくる ・ちようちん ・折り紙でロケットを折る ・貝殻つなぎ</p>	<p>・貝殻の数を教えながら友達と比べたり、より長くしようとしたりしながら楽しんでつくっていた。教師も一緒に数えてみたり、長さが感じられるように室内に飾ったりすることで飾りが増えていく喜びや美しさを感じながら、七夕飾りづくりの楽しさが十分に味わえるようにした。また、二人一人の色合いの違いを見ることも楽しい様子だった。 ・折り紙に5月から多く触れていたことで、折り紙での飾りづくりを一層楽しむことができた。 ・ちようちんや貝殻つなぎでは、はさみの扱い方を一人一人丁寧に教えることができ、</p>	

<p>7月</p> <p>宇宙ごっこ</p>  	<p>○クラスで七夕飾りをつくる</p> <p>○宇宙のイメージで友達と遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材を使ってイメージを広げて遊ぶ 	<p>個々に合わせた指導ができた。また、丁寧に切ることやつくことをねらいにすることで年長のこの時期にできることが増えたことが実感できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな七夕飾りづくりでは、クラスで色合いやできていることを考える話し合いの時間をもち、みんなです話合って決めて大きな飾りをつくる経験になるようにした。 ・「一緒につなげよう」「数を確かめよう」など友達と分担したり、協力したりすることは初めての経験ながら、つくり進めていく中で「僕たち、速くできあがるよ」「みんな、あと4本だよ」など友達と力を合わせてつくる楽しさを感じることができた。「○○くんのとつなげたら、もっと長くなるね」と教師は、友達に必要とされていることや一緒につくることでより長くできたり、大きなものが出来上がったりする達成感を味わえたりするように言葉かけした。
<p>9月</p> <p>夏休みの絵</p> 	<p>○大きな紙に絵の具で絵を描く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな紙に描くことを楽しむ ・自分の使いたい絵の具を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケット飛ばして遊んだり、段ボールで宇宙基地やロケットをつくったりして空き箱や段ボールなどイメージを形にしたり、なりきって遊んだりすることを楽しめるようにした。 ・気の合う友達と同じものをつくって楽しんだり、「ここは女の子星です」と場をつくって遊んだりして数人の友達とイメージや場を共有しながら遊んでいた。その中で「隕石だ」とイメージを広げて遊んだり、「ドアがないからつくろう」と必要なものを考えてつくって遊んでいた。 ・まだ、イメージを形にすることが難しかったり、友達とイメージがなかなかならなかったりするので、幼児が話したことや前日の続きで遊べるように場を用意したり、音楽をかけたり、部屋を暗くしたり、イメージに合う段ボールを用意したりしておくことで、友達と誘い合って遊んだり、相談しながら遊んだりする様子が見られた。
<p>9月</p> <p>夏休みの絵</p> 	<p>○大きな紙に絵の具で絵を描く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな紙に描くことを楽しむ ・自分の使いたい絵の具を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ホルの床にタイベックス(白)、ラシヤ紙(黒、水)を3カ所に置く。 ☆絵の具をペットボトルに溶いておく。牛乳パックの入れ物と太さの違う筆をそれぞれ用意しておく。 ・夏休みの経験をそれぞれに伸び伸びと描く姿が見られた。一枚の画用紙に描く時とは違い、好きな色の絵の具を選び、好きな場所で好きなものを描くという、とても自由な雰囲気の間になった。夏休みの思い出を語りながら振り返る子供たちに

	<p>9月</p> <p>自分の全身を紙でつくる</p> 	<p>○画用で顔のパーツをつくる(顔・首・胴・手・足)</p> <p>・体のバランスに気付きながらつくる</p> <p>○割りピンで留める</p> <p>・体の部分のつながりに気付く</p>	<p>対して、教師側も余裕をもってかかわることができた。一枚の画用紙だと、たくさんある経験の中からどれか一つを選ばなくてはならないが、今回は花火の絵を描いたり、海の絵を描いたり、旅行の絵を描いたり場所を自由に移動できたので、幼児の「全部の思い出も描きたい」という気持ちを十分に出し切ることができたのではないかと思う。</p> <p>☆顔、手、胴、腕、足 それぞれの大きさの画用紙を用意しておく</p> <p>・手は自分の手の形を鉛筆でかたどり、切る。顔もほぼ自分と同じ大きさ。</p> <p>・それ以外の腕や胴、足は体のバランスを気づかせながら、つくっていった。</p> <p>・できたパーツを割りピンでとめたり、のりで接着したりする。</p> <p>一つ一つのパーツをつくっている過程ではあまり感じられなかったが、割りピンでそれぞれを留めてつなげると「本物のからだみたい！」「おもしろい！」とつくった人形に動きが生まれたことを楽しんでる様子がかうかがえた。</p> <p>・一学期の時計づくりで割りピンに触れていたもので、要領をつかむと、自分で行う姿が多く見られた。(経験を重ねることが大切)</p>
<p>9月</p> <p>敬老の日 (メッセージカード)</p>	<p>○おじいちゃん、おばちゃんにメッセージカードをつくる</p> <p>○得意な折り紙を折る</p> <p>・相手のことを思いながらつくる</p>	<p>・折れるようになったり、得意な折り紙を折ってカードを製作した。個人差が見られるが、大分細かい部分も折れるようになってきていた。作品のために折り紙に触れるのではなく、普段から遊びに使える折り方(ハート、パッケンチョ、やつこ、財布など)により多く触れ、親しめるような継続した教師のかかわりや保育計画、環境設定が必要だと感じた。</p>	
<p>10月</p> <p>木の実の飾り</p> 	<p>○正面テープをつけた土台に木の実を飾る</p> <p>・いろいろな自然物に触れる</p> <p>・組み合わせを楽しみながらつくる</p> <p>○おがくずをまぶす</p>	<p>☆画用紙、おがくず、木片(丸くスライスされたもの)、野菜チップ、押し葉、小豆、種、小枝等、乾燥させた植物、両面テープ、ポンド</p> <p>・夏季実技研修で学んだ技法を保育に取り入れた。</p> <p>・教師自身が研修で感動した経験が保育に大きく影響した。</p> <p>・大人以上に子供たちの素材の組み合わせや並べ方は斬新であった。「何でもあり」という状況が想像を豊かにし、満足いくまで素材に触れていた。「自由な想像に寄り添いながら、その形おもしろいね」「どんな模様になるかなあ？」など会話をして活動を進めていった。</p> <p>・おがくずをまぶす</p>	

		<p>・浮き上がった模様を楽しむ</p>	<p>で、「かけちゃって大丈夫？」「ほんとうにできるのかなあ？」と心配しながらも、出来上がりを楽しみにしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な(自然の)素材ほど子供たちにとって扱いやすく、かつ子供たちの自由な想像を引き出すものになるのではないかと感じた。
<p>10月</p>	<p>運動会の絵</p> 	<p>○画用紙に運動会の絵を描く(四つ切)</p> <p>・運動会の思い出を絵に残す</p>	<p>☆画用紙(四つ切)、クレヨン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少児に比べ、印象に残っている場面がはきりしており、運動会を思い出しながらそれぞれに描く姿が見られた。 ・ただ、正直なところ経験の絵を書く難しさ(子供の記憶、運動会を経験をしたことだけで満足しているのではないかという疑問、思い出を絵として残そうとする教師(大人の意図)が入り混じっていた気がする。 ・子供の表現を十分に受け止めたいと意識しているもの、「突はどっだった？」「周りに誰がいたかな？」「何色の帽子をかぶっていたかな？」など、「それらしい絵」になるような言葉掛けをしまいそうになった。絵画表現の難しさを感じた。
<p>10月</p>	<p>お芋ほりの絵</p> 	<p>○大きな紙にお芋ほりの絵を描く(絵の具・クレヨン)</p> <p>・お芋ほりの思い出を絵に残す</p>	<p>☆A1の画用紙を13枚ずつつなげ、2枚つくる(人数分の枚数)、クレヨン、絵の具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの絵の経験から、大きな紙に描くことへの楽しさや期待が感じられた。 ・絵を描き始めると、「友達と同じように描かなくては」と感じている幼児が多く見られた。「伸び伸び」という姿より、「描かなくては」という気持ちの方が強く見られた気がする。地中のもの(サツマイモ)を掘っている自分の絵を客観的に描くのは難しいような気がした。 ・夏休みの絵を描いた時の違いは、夏休みの絵は一人一人経験が違うので、「夏休みの絵」というテーマの下、それぞれが自分の絵を描くことができた。一方、お芋ほりの絵は「お芋ほりの絵」というテーマのもの、「お芋ほりの絵を「描かなくては」いけないという活動になってしまったため、どこか表現を制限されるような、正解を探すような幼児の戸惑い(教師も同様)が感じられたように思う。
<p>11月</p>	<p>動物づくり</p>	<p>○ダンボールで動物をつくる</p> <p>○絵の具で色を塗る</p> <p>○いろいろな素材を組み合わせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆段ボール、素材(紙類、カップ、毛糸、ストロー、木の美など)、絵の具、接着剤 ・昨年の経験がとても大きく、「遠足に行ったら、僕たちでも動物園開くんですよ！」と動物園ごっこの活動を見据えたスタートとなった。 ・動物の形になるように段ボールを組み合わせたり、いろいろな素材を付けたりして製作を進めた。友達と「これにしよう」「いいね」「こっこのほうがいいよ」などと、

	<p>共感したり、時には考えを衝突させたりしながら完成に向けてつくる姿が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の完成度や活動の意図をどう設定するかで、教師のかかわりが大きく変化するように感じた。教師側も、動物づくりに関して「幼児に気付いて欲しいこと」「教師が気付かせたいこと」を明確にして取り組む必要があると思う。 ・6年生との連携活動では幼児だけでは思いつかないアイデアをもらおうと、やき、動物づくりがさらに進んでいった。かかわり方としては、少し受け身がちで「やってみよう」形になってしまったのは課題だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に一つの作品をつくり上げる楽しさや嬉しさを感ずる ・自分の思いを出したり、友達の思いに気付いたりしながら取組みを進める 	
<p>12月</p> <p>絵画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モーモースクール ・ クリスマス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでも自由画帳の使い方について課題をあげていたが、絵を描く経験そのものが少ないことを実感した。教師から意識的にテーマ（今回なら「モーモースクールの絵」「クリスマスマスの絵」）を出して、絵を描くきっかけをつくる必要性も感じた。 ・ 自由画帳よりも画用紙（普通紙でも）がいつでも置いてあり、自由に使える方が幼児が「描きたい」と思った時に描けるような気がした。 		<p>12月</p> <p>クリスマスバッグ</p> 
<p>12月</p> <p>たこづくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画用紙にクレヨンでクリスマスモチーフを描いたり、タンポをしたり、マスキングテープや画用紙を切ったものを貼り付けたりする ・ これまで扱ったことがあるものを使用したもので、子供たちが自分のイメージに合わせて素材を使っている様子が合った。 ・ 絵を描く幼児、画用紙を貼る幼児、マスキングテープを組み合わせる幼児など、それぞれが自分だけのバッグを製作することができたので、愛着をもってクリスマスを楽しみにすることができた。 ・ できあがったバッグは窓に飾り、友達同士で見せ合えるようにした。 ・ 新しい技法やつくり方を紹介し、つくってみることも大切だが、これまで経験したことを生かして製作を重ねていくことも大切だと感じた。 ・ ☆好きな色のビニールを選んで自分の好きな絵を描けるようにしておく ・ 絵を描くことの楽しさを感じ始めていた時期だったので、喜んでくださったことのように考えて、描き始めていた。 ・ 友達と一緒にたこづくりを楽しんでいるが、自分なりに描きたいものやイメージがあり、それを自分なりの色合いや構図でじっくり描いていた。同じテーマで（例えば、女の子やクワガタなど）描いていても、自分なりに描いている様子があった。 	<p>〇いろいろな素材を使ってクリスマスバッグをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サンタさんが来るのを楽しみにしながらバッグをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビニールにマジックで絵を描く ・ ひもを結ぶ

<p>・いろいろな絵だこが出来上がる面白さに共感し、友達を描いたものよさを感じたり、自分のつくったこに愛着がもてるようにしたりした。</p> <p>・色合いを工夫したり、本物らしく描きたいという気持ちが強くなるようになってきているように感じた。</p> <p>・結ぶことが経験を重ねて上手になり、タコ糸を上手に結べるようになっていた。</p>		<p>・まず、紙版画を印刷するところを見て、どんな風に印刷できるか知り、興味をもてるようにした。面白さを感じ、紙を重ねて貼ったところが形として出てくるのがわかり、楽しんでつくり始めていた。</p> <p>・「こわい鬼」つよそうな鬼「きばを大きくしたい」など鬼のイメージを広げてつくっており、1、2学期のイメージを形にできなかったり、イメージが広がらなかつたりした様子からの変化が見られた。イメージに合う形になるように何度も描いて試してみたり自分なりによく考えて工夫してつくることに楽しさを感じていた。</p> <p>・髪の毛を紙を丸めてモコモコした雰囲気ができるように使ったり、はさみで切り込みを入れたり、重ねて貼ったりするなどこれまで経験したことを生かしてつくり進めていたのいろいろな素材に触れたり技法を知ったりしたことが、幼児の中に溜め込まれているのだと感じた。</p> <p>・初めての版画遊びなのでも楽しんで印刷を繰り返していた。ローラーを経験することは多くあったので早い時期にステンレン版画も経験できると楽しいのではないかと。</p>	<p>☆いろいろな色の毛糸を用意し、色を変えて楽しめるようにする</p> <p>・マフラーづくりの経験から指先を細かく動かしたり、毛糸の扱いが上手にできるようになっていたりした。</p> <p>・一本ずつ抜かさないように集中して進めており、きれいに仕上がることに喜びを感じていた。</p> <p>・自分の力でつくり上げたり、つくり方がわかって色合いを試して繰り返すつくりする姿があったので、友達と伝え合ったり、試したりしている姿を見守った。</p>
<p>1月</p> <p>紙版画（鬼）</p> 	<p>○鬼の原板をつくる</p> <p>・画用紙をイメージした形に切って貼る</p> <p>○印刷する</p>		<p>1月</p> <p>雪の結晶づくり</p> 

2月

おひなさまづくり



○雛人形や屏風、小物をつくる

- ・紙粘土や発砲球、和紙、折り紙、毛糸などさまざまな素材を使ってつくる。
- ・いろいろな素材の使い方を知らせると、「そうやってできているんだ。やってみよう」と意欲が見られ、これまでの経験を経て、つくることの楽しさを十分感じているように感じた。そのことで、集中してじっくり取り組んでおり、「つくる楽しさ」が育ったことが丁寧につくったり、自分の力で工夫してつくったりする姿につながっていると感じた。
- ・出来るまで工程が長いですが、4日間程度に分けて少しずつ進めていくことでだんだん出来上がっていくことを楽しみにじっくり進めることができました。幼児にとつて見通しがいちいちやさしい、製作計画、過程を考えることも大切だと感じた。
- ・つくり方を理解して自分なりにつくり上げていくことができるように、**材料をわかりやすく分けたり、工程を示したりした。**